

令和7年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立中野小学校

令和7年2月

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

○学級活動を3年研究し、令和4年度より特別活動と枠を広げ、児童会活動・クラブ活動も加えて研究を進めてきたことにより、よりよい学級づくりだけでなくよりよい学校づくりをめざして自ら考え行動する児童を育てている。「自分たちで中野小学校をよりよくしていく」という気風が受け継がれている。また、高学年のリーダーにあこがれをもち、下学年のフォロワーシップも育ってきている。

○学級活動で学んだ話型を基本としてどの学習でも「話す・聞く」ことの態度を育てることに重点を置いて指導し、話しやすい学級集団作りを心がけている。その結果、小グループでは話し合うことはできるようになっているが、全体の場では、進んで自分の意見を表現することが苦手な児童もいるのでハンドサインなどを有効に活用している。

○学力面では、大阪市小学校経年調査の年度目標を全学年達成することができなかったが標準化得点にどの学年もほぼ近づいている。今年も確実に基礎・基本が定着する手立てと、教員の授業力の向上に向けて取り組んでいく。自主学习についてもいろいろな場面で保護者に伝え、子どもたちの意欲が継続できるよう学校全体で取り組んでいく。また、一人一台端末の活用が80パーセントを超える日が少なかったため、より増やしていくよう子どもたちへの声掛けを継続することと授業改善を行っていく。

○体力面では、男女ともにどの学年も春よりも記録を伸ばすことができ、5年生も男女とも体力合計点が全国平均を上回った。「スポーツが好き」という回答も、目標を上回った。これからも外遊びを推奨し、なわとび・かけ足などを取り組む週間を設けて有効な運動のあり方を模索する。体育科の授業でも準備運動に中野っ子体操を全学年で1年間通して取り組み、ラダーや運動量の多い活動を多く取り入れる。また、体の硬い児童が多いのでストレッチも今年度より加えて取り組んでいく。ゲーム領域では、学級活動で学んだことを生かして、チームでの作戦や運動について話し合い、学び合いができるよう引き続き授業改善を進めていく。

学年内で授業交換するなど学級担任だけでなくチームで子どもたちの学びを支え、担当する教科を減らすことで児童との関わりが持てる時間を増やし、働き甲斐のある職場づくりを推進する。

**中期目標****【安全・安心な教育の推進】****基本的な方向1 安全・安心な教育の推進**

①令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を90%以上にする。

②年度末の校内調査において、不登校児童の割合を前年度より減少させる。

③年度末の校内調査において、前年度不登校の児童の改善の割合を増加させる。

**基本的な方向2 豊かな心の育成**

④令和7年度の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和7年度末に90%以上にする。

⑤令和7年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対し

て、肯定的に回答する児童の割合を令和7年度末に77%以上にする。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

##### 基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上

⑥全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を令和7年度末に国語・算数とも1.00にする。

⑦令和7年度末の校内調査の「習熟度別少人数授業やグループ別授業は分かりやすい」の項目について、肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。

##### 基本的な方向5 健やかな体の育成

⑧全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を令和7年度末に男女とも1.00にする。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

##### 基本的な方向6 教育DXの推進

⑨授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。

##### 基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

⑩ゆとりの日については、週1回以上設定する。学校閉庁日は、夏季休業で3日以上、夏季休業期間以外の休業期間において1日以上設定する。

##### 基本的な方向8 生涯学習の支援

⑪令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合を76%以上にする

##### 基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協議した教育の推進

⑫令和7年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にしているか」の項目について、令和3年度より1ポイント増加させる。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 基本的な方向 1 安全・安心な教育の推進

- ①令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を90%以上にする。
- ②年度末の校内調査において、不登校児童の割合を前年度より減少させる。
- ③年度末の校内調査において、前年度不登校の児童の改善の割合を増加させる。

#### 基本的な方向 2 豊かな心の育成

- ④令和7年度の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和7年度末に95%以上にする。
- ⑤令和7年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上

- ④小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。
- ⑤小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- ⑥小学校学力経年調査における「外国語（英語）勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ⑦小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。

#### 基本的な方向 5 健やかな体の育成

- ⑧小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。
- 新体力テストの立ち幅跳びの記録を全学年、年3回実施し前回よりも記録を上回る。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 基本的な方向 6 教育 DX の推進

- ⑨授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の75%以上にする。

#### 基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- ⑩年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を85%以上にする。

#### 学校園の年度目標

#### 基本的な方向 8 生涯学習の支援

- ⑪令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合を80%以上にする。

#### 基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協議した教育の推進

- ⑫令和7年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を行おうとしているか」の項目について、肯定的な回答を90%以上にする。

### 3 本年度の自己評価結果の総括

安心・安全な教育の推進では、いじめについては、いじめアンケートで児童から聞き取り、その都度解決し、再発もなく至っている。年3回いじめ・いのちについて考える日を設け、子どもたちにその都度講話を行い、学級でも話し合う機会を作っている。不登校だった児童6人は引き続き保護者と協力しながら対応を進めているが中々登校できるところまでは至っていない。しかし、内1名はクラブ活動の時間のみ登校できる日もあり、別室登校で毎日来れるようになった子、放課後に週1回登校できるようになった子もいて少しではあるが、改善傾向にある。新たに2名の児童が行き渋りがあり、登校できない日が増えてきているので、保護者、SCや医療機関と連携して対応を進めている。

本校の年度目標を見ると、「人の役に立つ人間になりたいですか」という項目、「自分にはよいところがありますか」の項目で目標を上回り特別活動で培ってきた成果が出ている。自己肯定感が高学年も高まってきた。

誰一人取り残さない学力の向上の全市共通目標について、学力経年調査の全国比を前年度より4年生は引き上げることができたが5・6年は上げることができなかった。しかし、上げることはできなかったが、ほぼ標準化得点に前後した結果となった。「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広めたりすることができていますか」では、目標を3ポイント下回り達成することができなかった。7年間学級活動を中心に特別活動を研究領域にしているが、やはり高学年では割合が低くなっている子どもたちの中では、昨年より高い水準を考えて低く自己評価をしているのではと考える。「外国語が好きですか」の項目では、経年調査で、目標を6ポイント上回り達成できた。各学年教科担任制にし、教材研究をCNETの先生と協力して進めてきた成果だと考える。体力面では、男女ともにどの学年も春よりも記録を伸ばすことができ、5年生も男子は体力合計点が全国平均を約2ポイント女子は、約4ポイント上回ったが、「スポーツが好き」という回答は目標を上回ることができなかった。

学びを支える教育環境の充実では、ICT機器の活用については、80%以上の児童が活用する日を50%以上にするという項目は、55.4%で本校の目標には届かなかったが、大阪市の目標の50%を超え、昨年度に比べると大きく前進した。心の天気の入力も増え、コメント欄を活用して児童の思いをたくさん吸い上げることができた。

ゆとりの日を週に1回設定し、管理職が声をかけた結果か昨年度より平均長時間勤務が約1時間減っている。読書は、学校司書と協力して図書委員会を中心に取り組みを進め、自主学習できるような環境作りもしているが、目標を達成することができなかった。また、地域や保護者にもHPや学校だよりを通して学校のことを発信してきたが昨年度が98%と高かったため、目標は達成できなかった。

昨年度保護者による有形力の行使事案があったので、全教職員で登校時の配置の見守りを変えたり、セキュリティ強化をしたりと継続して行っている。防犯カメラを設置し、見守り体制が格段に向上した。生活指導面で、引き続きいじめの早期発見、早期対応による指導と、学校の組織的な取り組みを進めることで防止も含め安全・安心な学校づくりを引き続き進めていく。その指標として、「学校が楽しい」「きまりを守っている」の項目でチェックし、フィードバックしながら改善策を講じていく。一方で、今年度成果のあったたてわり活動を来年度以降も引き続き大切にして、異学年のかかわりによる育ちを推進し、子どもたちがつくる学校をめざして自主的活動を支援していく。

学力面では、引き続き、確実に基礎・基本が定着する手立てと、教員の授業力の向上に向けて取り組んでいく。自主学習についても廊下や教室に掲示したり、学年だよりで啓発したりとさまざまな場面で保護者に伝え、子どもたちの意欲が継続できるよう学校全体で取り組んでいく。また、一人一台端末の活用場面をより増やしていけるようタイピング練習やスクリーンメニューの発表ボードなどの活用、自宅に持ち帰り復習にデジタルドリルを積極的に活用するなど今後も授業改善を行っていく。

体力面では、外遊びを推奨し、運動委員会を中心になわとび・かけ足などの週間や体力向上週間を設けて有効な運動のあり方を引き続き模索する。また、運動に親しみが持てるようペア学年でのドッジビー大会を今年度も開催し、子どもたちが喜んで参加していた。来年度も児童からの意見を吸いあげ、運動に親しめる機会を増やしていきたい。体育科の授業でも準備運動に中野っ子体操を全学年で1年間通して取り組み、ラダーや運動量の多い活動を多く取り入れる。ゲーム領域では、学級活動で学んだことを生かして、チームでの作戦や運動について話し合い、学び合いができるよう授業改善を進めていく。

学年内で専科だけでなく、授業交換するなど学級担任だけでなくチームで子どもたちの学びを支え、担当する教科を減らすことで児童との関わりが持てる時間を増やし、働き甲斐のある職場づくりを進めていく。

## 大阪府立 中野小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>全市共通目標(小・学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。</li> <li>・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</li> <li>・ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</li> </ul> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和7年度の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和7年度末に95%以上にする。</li> <li>・ 令和7年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和7年度末に80%以上にする。</li> </ul>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【<b>基本的な方向1、安全・安心な教育の推進</b>】</p> <p>いじめについて考える日やいじめアンケートを活用していじめを許さない雰囲気づくりを進める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を90%以上にする。</p>	C
<p>取組内容②【<b>基本的な方向2、豊かな心の育成</b>】</p> <p>学級活動を中心に自ら進んで物事に取り組む気持ちを育て自己の役割に対して責任をもって果たしたり、集団のために貢献したりしようとする教育を進めることで自己有用感を育てる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>令和7年度の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和7年度末に95%以上にする。</p>	B
<p>取組内容③【<b>基本的な方向2、豊かな心の育成</b>】</p> <p>友だちと協力して成し遂げる体験活動(異学年交流など)の機会を多くもつことによって自信をもち、自分のよさを発揮できる子どもを育てる。</p>	A

指標

令和7年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和6年度末の80%より向上させる。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①

- ・学期に一度のいじめアンケートやいじめ・いのちについて考える日、日々の心の天気の把握や指導・啓発等取り組みを行い、「いじめは許さない」という雰囲気づくりができています。しかし、「思う」に回答する児童の割合は82.5%で、目標としていた90%を達成することができなかった。
- ・課題として「あまり思わない」「思わない」に回答する児童がいることや、学年が上がるにつれて「思う」に回答する児童の割合が少なくなっていることが挙げられる。

取組内容②

A→6人 B→5人

- ・経年の指標は「95.4%」で達成している。
- ・係活動などで、一人一人が自分の役割を果たすことのできる係を考えたり、終わりの会で係からの連絡を入れて、一人一人が学級のために役割を果たせるようにしている。
- ・誰かのために働くことを惜しまない子が多い。
- ・学活で役割を分担して、1つのことに取り組む経験を多くした。
- ・児童・保護者ともにアンケート結果の数値が高い。
- ・課題→自己有用感を育ててきたが、児童の中には人柄の良さがあっても学力に自信が持てずなかなか「人の役に立つ人間」と考えられない児童がいた。

取組内容③

- ・令和7年度の小学校学力経年調査の結果、「83.7%」で達成している。
- ・委員会や係活動など、子どもが中心となって活動する機会が多くある。
- ・クラブ活動、児童会活動、委員会活動で異学年交流があり、色々な場面でほめられ、認められ、自分に自信をもつことができた。
- ・児童・保護者ともにアンケート結果の数値が高い。
- ・高学年は優しくみんなをまとめ、いつかこんな高学年になりたいと思えるような関わり方をしていた。

次年度への改善点

取組内容①

- ・現在行っている取り組みを継続しつつ、いじりや見て見ぬふりなどもいけないと思えるように日々学級で指導。支援をしていく

取組内容②

- ・高学年がたてわり班活動など異学年交流の場面で学校全体のために中心となって物事に取り組む姿勢を見せることで低学年にも学校や学級のためにと意識が生まれるのでは

取組内容③

・否定的な意見の児童がいるため、引き続き学校全体で自己肯定感を高める取り組みを続けていく。

## 大阪市立 中野小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標(小学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。</li> <li>・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を70%以上にする。</li> </ul> <p><b>学校の年度目標</b></p> <p>○新体力テストの立ち幅跳びを全学年、年3回実施し前回よりも記録を上回る。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【<b>基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上</b>】</p> <p>授業の中で、必ずペアトークや小グループでの話し合いの場を設定し、自分の考えをまとめて書いたり、発表ボードを使って発表したりして学びを深めよう。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。</p>	B
<p>取組内容②【<b>基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上</b>】</p> <p>実態把握をし、基礎基本の反復練習や発展学習ができるよう自主学習を全学年で取り組み学び方を身に着けさせる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。</p>	B

<p>取組内容③【<b>基本的な方向</b>4 誰一人取り残さない学力の向上】 朝の外国語活動の充実・時間の確保、授業の中でコミュニケーションが取れる活動を必ず取り入れ、話すことに慣れさせる。</p>	A
<p>指標 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【<b>基本的な方向</b>4 誰一人取り残さない学力向上】 観察や実験を通して、生き物や化学に対する興味を持てるように、理科好きな子を育てる。</p>	A
<p>指標 ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑤【<b>基本的な方向</b>4 健やかな体の育成】 体力向上に向けて体育科の授業や外遊びの工夫・改善を行う。 授業の初めにラダーやミニハードル、中野っ子体操を取り入れ、継続して体力づくりを進める。</p>	B
<p>指標 ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を70%以上にする。 ・新体力テストの立ち幅跳びを全学年年3回実施し前回よりも記録を上回る。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容① A3名 B8名 C1名 ・自然とペアトーク、グループトークの話し合いができていた。 ・交流に膨らみが出てきた。 ・ペアトーク、グループトークを取り入れているクラスが多い。 ・自分の考えを広げられる児童が増えた。 ・学校アンケート49%なので達成 ・経年アンケート37.9%なので達成していない。</p> <p>取組内容② A2名 B8名 C1名 ・どのクラスも積極的に自主学習に取り組んでいる。 ・自主学習を教科別に出して取り組めるようにした。 ・4年生以外は達成することができなかった。</p> <p>取組内容③ ・経年調査のアンケートにおいて指標を達成している。(86.1%) →各学年外国語を教科担任制にしていることで、教材研究がしっかりと行われていたり、</p>	

内容を工夫したり楽しく学習することができている。

- ・モジュール学習による定着もみられる。(チャンツ・ストーリーなど)
- ・モジュール学習で、楽しく外国語に触れている。(週2回)

→朝の時間にモジュールの時間が取れないときは、朝の用意や帰りの用意、掃除の後等も使ってモジュール学習を行っている。

→低学年からの積み重ねが、高学年につながっている。

モジュール学習ができていない。

→心の天気等で朝にモジュールの時間を確保することができない。

- ・C-NETを含めた外国語担当での情報共有(授業改善・工夫)

→各学年での取り組みを共有し、授業に活かせるようにしている。

言語活動を工夫している。

#### 取組内容④

・肯定的に回答する児童の割合が、3年90.5%、4年87.3%、5年84.9%、6年84.2%で、平均86.7%となり上回ることができた。

- ・専科で実験観察の段取り等、授業の準備が整えられている。
- ・実験観察等を多用に取り入れ、児童の興味関心を引く工夫ができている。
- ・生活科では、3年からの理科学習につながるよう、栽培活動・観察活動をできるだけ取り入れ、自然への興味関心を高める工夫ができた。

#### 取組内容⑤

・A2人 B10人 C1人

・経年調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を70%以上にする結果は67.5%と70%に届かなかった。

- ・新体力テストの立ち幅跳びを全学年年3回実施し前回よりも記録を上回る。

幅跳び 1年 104cm→110.5cm      2年 119.5cm→126.5cm  
3年 119.5cm→126.5cm      4年 127cm→129.6cm  
5年 147cm→160cm      6年 155.6cm→169cm

体育の時間に跳躍力がアップする運動を新たに作り取り入れた結果、全学年記録を上回ることができた。

・中野っ子体操、ラダー、ミニハードルを取り入れた。ランフェスやジャンピング等全体で運動する機会を設けた。

#### 次年度への改善点

##### 取組内容①

- ・交流が苦手な児童がいるため、その児童への手立てが必要である。

〈手だて・改善点〉

① 何を話せばよいのかまとまらない児童

→話型を使ったり、付箋やメモ用紙に書いたりしてまとめてから発表する。

② 自信がない児童

→教師と練習し成功体験を増やす。

③ 消極的な児童

→仲の良い児童と固定で話し合い活動を行い、成功体験を増やす。

取組内容②

・自主学習は各クラスで取り組んでいるが、一人ひとり興味やクオリティに差があるので、取り組み方に工夫が必要である。

取組内容③

・心の天気等で朝のモジュール時間を確保できていない学級があるので、モジュール学習は必ずイングリッシュタイムではなく、週2回20分間でどこかでとればよいことを周知し、全学級で取り組めるようにする。

取組内容④

・実験観察結果から考察する力がなかなか育っていないように思える。経年の結果も応用が相対的に低い。関連付けて思考できる、イメージを持てる、そんな場の設定がもっと必要に思う。

取組内容⑤

・各クラスでの外遊び（みんな遊び）の声掛けや、体育の授業や出前授業などを取り入れ、運動やスポーツの楽しさを伝えることが大切だと考える。

## 大阪市立 中野小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <p><b>基本的な方向 6 教育 DX の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 75%以上にする。</li> </ul> <p><b>基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 85%以上にする。</li> </ul> <p>学校の年度目標</p> <p><b>基本的な方向 8 生涯学習の支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和 7 年度の小学校学力経年調査・校内調査の読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合を 80%以上にする。</li> </ul> <p><b>基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協議した教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和 7 年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を行おうとしているか」の項目について、肯定的な回答 90%以上にする。</li> </ul>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX の推進】</p> <p>デジタル教科書やタブレット等 ICT を授業の中で多く取り入れ、観察したことや調べたこと等をまとめて発表できるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 75%以上にする。</p>	B
<p>取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>年次有給休暇を取得しやすい職場環境づくりに努める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 85%以上にする。</p>	B
<p>取組内容③【基本的な方向 8 生涯学習の支援】</p> <p>本をいつも読めるようにし、図書館開放や、読み聞かせ、本の紹介、読みたい本のランキングなど子どもたちが本に興味を持てるような活動を工夫する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>令和 7 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合を 80%以上にする。</p>	B

<p>取組内容④【基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協議した教育の推進】</p> <p>学校だより、ホームページ、家庭学習チェックシートなどを活用して学校の教育活動を分かりやすく伝えていく。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度末の保護者アンケートの「学校は学校だより、ホームページ等で教育活動を分かりやすく伝えている」の項目について肯定的に回答する保護者の割合を94%以上にする。</li> <li>・令和7年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を行おうとしているか」の項目について、肯定的な回答を90%以上にする。</li> </ul>	B
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容①</p> <p>A 3人 B 7人 D 1人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心の天気の入力を意識して声かけできた。</li> <li>・調べ学習や発表などで活用することができた。</li> <li>・デジタルドリルを宿題で活用した。</li> <li>・学年、学級によって活用頻度に差がある。</li> <li>・タブレットの使用率の方針について知りたい。</li> </ul> <p>取組内容②</p> <p>A→8 B→3 C→1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休暇に年休を使用することができた。</li> <li>・取得しやすい職場環境である。</li> <li>・平日に使用することはないので、「取得しやすい職場環境」は長期休暇のときのことをさしているのかわからない。</li> </ul> <p>取組内容③</p> <p>A→7人、B→4人</p> <p>経年調査→75% 校内調査→81%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の図書館開放や朝の読み聞かせ、読書クイズなどの図書委員会の取組などにより、本に触れたり興味を持ったりする機会が設けられている。</li> </ul> <p>⇒読書が好きな児童が多くいる。</p> <p>取組内容④</p> <p>A→7 B→5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活アンケート ホームページ等は94.5%、家庭・地域との連携は92.9%でどちらも達成している。</li> <li>・ホームページ、学校だより、必要に応じてミマモルメで発信できている。</li> <li>・行事や普段の授業など細かくホームページにあげているので、保護者が様子を知る機会は増えている。</li> <li>・家庭学習チェックシートがなかった。(低学年にはかなり有効)</li> </ul>	
<p>次年度への改善点</p>	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Google Chromeを開いたら使用認定がされることを周知していく。</li> </ul>	

取組内容②

・長期休暇は取得しやすいが、平日に使用することが難しいため、平日でも取得しやすい環境を整えていく必要がある。

取組内容③

・本を読むことが苦手な児童が少しでも好きになれるような取り組みを考えていきたい。

取組内容④

・ホームページの周知をしていく。学校だよりなどでQRコード等を載せ、閲覧数を増やしていく。

・引き続き、家庭や地域との連携を続けていく。